2023 助産師レター 51

滋賀県看護協会助産師職能委員会

皆さんこんにちは！2023年春満開の季節になりました。2022年度の助産師職能委員会もあと少しになりました。
今年の助産師職能集会は、10年に1度の寒波の影響で、急遽前日に開催の変更を致しました。皆様には大変ご迷惑をお掛け致しましたが沢山の参加有難うございました。少子化が進むなか、助産師の必要性は国からも、期待されています。力を合わせて助産師パワーを発揮しましょう。

委員長報告

第2回全国助産師職能委員長報告　（2023年３月3日　東京日本橋）

1．2022年度活動報告

①「母子の為の地域包括ケア病棟」開設・運営の推進では、院内助産が中々開設出来ていない現状があった。しかし「院内助産」の正しい定義を伝えると「実施出来ている」と答える施設が増加した。

② 分娩取り扱い施設の集約化に伴う助産師の働き方・分娩取り扱い終了により、助産師の働く場所を失い、看護師として従事せざるを得ない実態がある。

2．2023年度活動方針

★ 活動目標１　助産師の活躍推進の検討に向けた意見集約・課題発見
★ 活動目標２　分娩取り扱い施設の集約化

3「助産師の専門性発揮のあり方に関する実態調査」2022年9月1日～9月30日Web調査（回収率23.3%）

★ 現在の主な業務「助産師 77.7%」、「看護師21.9%」
★ 「混合病棟で勤務 53.9%」、2012年の調査結果と比較し10.5ポイント増加した。
★ 正常分娩に関する助産診断における「助産師の裁量と判断で実施」と「あらかじめ連絡相談内容を医師と相談の上、助産師の裁量と判断で実施」を合わせると全17項目中16項目で8割以上を占めた。
★ 助産師の働き方は改善傾向にある（三交代制が半減、オンコール体制が減少）
★ ウィメンズヘルスケアへの関わりの推進が必要
★ 賠償責任保険へ加入は62.8% 一層の促進が必要

研修会報告

助産師職能委員会

2023年3月11日（土）in滋賀県看護研修センター

- 活動報告
- 「滋賀県周産期の現状と今後の計画」
  滋賀県健康医療福祉部 理事 角野文彦氏
- 「産後ケアの現状と今後の課題」
  市立長浜病院 産前産後ケアステーション
  にじいろ看護科長 岸本尚子氏
- 各ブロックごとのグループワーク
  各施設での周産期における問題点
  産後ケアの現状について

参加者のご意見

- 働く環境が違うもの同士が話し合うことで相手を知ることができた。
- 話し合った内容を現場に持ち帰って活用していきたい。
- 色々な施設の方との意見交換を通して、様々な貴重な意見から、自施設に持ち帰り取り入れていきたい。
- 日頃のもやもやがスッキリしました。

妊産婦さんのタクシー利用に関する実務研修 (2022.11.2)

ゆりかごタクシー運転手さん・オペレーターさん向け認定研修に職能委員が講師として参加してきました。この研修は、コロナ感染拡大による影響を受け、3年ぶりの開催となりました。講義と演習の2部構成で、受講者20名の方々がとても熱心に取り組まれていました。

ゆりかごタクシーの利用登録件数は、令和3年度は3854件であり、妊産婦さんの3.5人に1人がゆりかごタクシーに登録していました。これからも、ゆりかごタクシーを始め、妊産婦さんの出産時の不安を少しでも解消できるような取り組みを継続していきます。

運転手さんに妊婦体験ジャケットを装着してもらい、妊婦さん体験を通して、安全・快適な運送方法を考えてもらいました

事例を使って「こんな時はどうする？」を考えました

助産師出向支援事業

平成26年度から8年間で29名の出向者があり、令和4年度の出向者は4名でした。

令和5年3月9日の助産師出向支援事業報告会では、出向者の目的に合わせて、分娩介助やMFICU、NICU・GCUの看護などの多くの経験と学びがあったと報告がありました。今後、助産師出向を希望している助産師の参加も多くありました。

第32回滋賀県母性衛生学会学術集会開催 (2023.2.23)

『ポストコロナの周産期医療　withコロナ～ポストコロナへ』をテーマに，学術集会長講演・一般演題10題・シンポジウム・特別講演について、146名の助産師・医師らで学びを深め合いました（学術集会長：淡海医療センター　ト部諭先生）　。一般演題では、プレコンセプションケア、産後のメンタルケア、滋賀県下の腹帯にまつわる慣習など多岐にわたり、専門職ではない方からの報告もありました。テーマであるコロナに関しては。開業助産師さん、県内外の助産師や医師、さらに生殖医療現場のお話もあり、実り多いものとなりました。コロナとの格闘（？）は未だしばらく続きそうですが、県下助産師一丸となり、周産期ケアの立場から県民の健康に寄与していきたいと思います。　【次年度開催情報：令和6年2月23日（祝）】

日本のお産を守れ第２弾～院内助産 助産師外来推進フォーラム～

2023年1月29日ズーム開催(リアル参加者約2000名)

分娩施設が減る中、医師と共働し院内助産を立ち上げた好事例の発表もあり、参考になりました。

日本看護協会のホームページからも視聴出来ます！

おしらせ

看護の日イベント
看護のフェア2023開催
令和５年5月7日（日）
9：30～16：00
各コーナー運営時間は
10：00～15：00
内容：赤ちゃん抱っこ
妊婦体験
性教育

令和４年度助産師職能委員のメンバー
初田聡美　溝口浩子　平本留見　三田村七福子
高橋真弓　　押谷優子　西川みゆき　花原恭子

- 『それでいいの？新生児のアセスメントとケア』
  令和５年8月9日（水）　9：30～16:30
- 「事例から学ぶ！
  胎児心拍数モニタリングの判読とリスク診断の対応』
  令和５年10月21日（土）　9：30～12：30
- その他研修企画中です。
  決まり次第追って連絡させていただきます。
  しばらくおまちください！